

NCHDのコンベヤー 資材搬送、AIで効率化

速さ調整、故障の予兆検知

行スピードを調整したり、故障の予兆を読み取って素早い保守対応に近づけたりする。現場作業員の業務の一部をAIで代替する。

AI開発のアリスマー（東京・文京）と業務提携した。アリスマーは東大発のスタートアップで、数学を基盤としたAI技術を強みとする。NCHDは2026年度中にAIが制御するコンベヤーを稼働する方針だ。まずダム建設の現場に導

入して効果検証する。NCHDのコンベヤーは土木工事サイトや石油化学プラント、製鉄所といった広大なエリア内の物資搬送を担う。従来はエリア内輸送のためにトラックで資材などを運ん

でいたものの、足元の運転手不足によってコンベヤーの需要が高まっている。NCHDの27年3月期の受注額は270億円で26年3月期の100億円の2・7倍に拡大する見込みだ。

大型ベルトコンベヤー
大手のNCホールディングス（HD）が土木工事
サイトや大規模なプラ
ント内に構築する資材搬
送用コンベヤーに人工知
能（AI）を搭載する。A
Iが運搬物量に応じて運